



2021年に大きな反響を呼んだ「クラシック・キャラバン」が今年も岩手県民会館で開催されます！

プログラム前半は協奏曲の名曲集。日本を代表する豪華ソリストが一堂に会し、それぞれの得意とするレパートリーを披露します。

また後半は我が国のオペラ界を担う歌手4人が集結。オペラの名場面を高らかに歌い上げます。

指揮は国内外で非常に高い評価を得ている山形交響楽団の常任指揮者・阪哲朗、テレビ番組でもお馴染みの假屋崎省吾を迎え、お届けします。ここでしか実現できない豪華絢爛の一夜をお楽しみ下さい！



阪哲朗 (指揮)  
Tetsuro Ban, Conductor

京都市出身。欧米での客演も数多く、おもにドイツ、オーストリアなどで約40に及ぶオーケストラ、歌劇場に招かれ成功を収めている。日本においては、主要オーケストラ、新国立劇場、二期会などのオペラ団体を指揮している。これまでに、アイゼナハ歌劇場音楽総監督、山形交響楽団首席客演指揮者、レーゲンスブルク歌劇場音楽総監督を歴任。現在、山形交響楽団常任指揮者、びわ湖ホール芸術参与、東京芸術大学、国立音楽大学より特別招聘教授として招かれるなど、後進の指導にも力を注いでいる。第44回バザンソン国際指揮者コンクール優勝。



川島成道 (ヴァイオリン)  
Kawabata Narimichi, Violin

1971年、東京生まれ。視覚障害を負った幼少期にヴァイオリンと出会い、音楽の勉強を始める。桐朋学園大学卒業後、英国王立音楽院へ留学。1997年、同院を同院史上2人目となるスペシャル・アーティスト・ステイタスの称号を授与され首席卒業。1998年、東京サントリーホールにおいて小林研一郎指揮、日本フィルハーモニー交響楽団との共演でデビュー。その後、英国と日本を拠点にソリストとして精力的な活動を展開し、毎年数多くのリサイタルと国内外の主要オーケストラと多数共演を行っている。



長谷川陽子 (チェロ)  
Yoko Hasegawa, Cello

色彩豊かな音色と音楽性を持ち合わせた、日本を代表するチェロ奏者の一人。2022年デビュー35周年。フィンランドのシベリウス・アカデミーを首席で卒業。国内外の主要オーケストラとの共演、全国各地でのリサイタル、室内楽、朗読との共演など活動は多岐にわたる。ロストロポーヴィチ国際チェロ・コンクール特別賞、新日鉄フレッシュ・アーティスト賞、第9回齋藤秀雄メモリアル基金賞等、受賞多数。桐朋学園大学音楽学部准教授。  
ホームページ <http://yoko-hasegawa.com/>



松田華音 (ピアノ)  
Kanon Matsuda, Piano

4歳でピアノをはじめ、6歳よりモスクワに渡り、E. イワノワ、M. ヴォスクレンスキー、E. ヴィルサーゼ各氏に師事、翌年ロシア最高峰の名門音楽学校、モスクワ市立グネーシ記念中等(高等)音楽専門学校ピアノ科に第一位で入学。エドヴァルト・グリーグ国際ピアノ・コンクール(モスクワ)グランプリ受賞他、多くのコンクールで優勝を果たす。国立アレクサンドル・スクリャーピン記念博物館より2011年度の「スクリャーピン奨学生」に選ばれ、2013年2月にはモスクワ市立グネーシ記念中等(高等)音楽専門学校で外国人初の最優秀生徒賞を受賞。翌年同校を首席で卒業。9月、モスクワ音楽院大学院に日本人初となるロシア政府特別奨学生として入学。2019年6月首席で卒業。同年、モスクワ音楽院大学院に入学。2021年6月修了。2014年11月ドイツ・グラモフォンよりCDデビュー。2017年6月に最新アルバム「展覧会の絵」をリリースした。2018年かがわ21世紀大賞受賞。



コハーン (クラリネット)  
kohan, Clarinet

ハンガリー出身。12歳でバルトーク音楽院英才教育コースに入学。在学中より国際コンクールで常に優勝及び入賞を果たしている。リスト音楽院を卒業後の2013年より活動を日本に移し東京音楽コンクール、秋吉台音楽コンクール、日本木管コンクール、日本音楽コンクールにおいて第1位及び多くの副賞を受賞。国内外のオーケストラとの共演やソロ・リサイタル、室内楽の活動を精力的に展開し、現在は作曲家としても活動の幅を広げている。現在、東京音楽大学講師。  
オフィシャルサイト <https://www.istvankohan.com>



伊藤晴 (ソプラノ)  
Hare Ito, Soprano

三重大学卒業、武蔵野音楽大学大学院修了。日本オペラ振興会オペラ歌手育成部第25期修了。ミラノ、パリで研鑽を積み、2013年パリ地方音楽院修了。第9回藤沢オペラコンクール第2位。第82回日本音楽コンクール入選。藤原歌劇団には14年《ラ・ボエーム》のムゼッタでデビュー以降、多数公演で好評を博した。他、NHKニューイヤーオペラコンサートなどコンサートでも注目を高めている。藤原歌劇団団員。日本オペラ協会会員。三重県出身。



林美智子 (メゾ・ソプラノ)  
Michiko Hayashi, Mezzo Soprano

東京音楽大学卒業。桐朋学園大学研究科、新国立劇場オペラ研修所第1期修了。文化庁派遣芸術家在外研修員としてミュンヘンに留学。2003年国際ミトローロス声楽コンクール最高位、第5回ホテルオークラ音楽賞受賞。数多くのオペラ出演やオーケストラと共演するなど人気、実力ともに日本を代表するメゾ・ソプラノ。



西村悟 (テノール)  
Satoshi Nishimura, Tenor

日本大学芸術学部、東京藝術大学大学院修了。イタリア声楽コンクール・ミラノで大賞、リカルド・ザンドナーイ国際声楽コンクール第2位及び審査委員長特別賞、日本音楽コンクール第1位。国内外の著名な指揮者、オーケストラと共演し、16年に大野和士指揮バルセロナ響とメンデルズゾーン「讃歌」で欧州デビュー。21年9月に初アルバム「Un passo」リリース。五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。出光音楽賞受賞。



宮本益光 (バリトン)  
Masumitsu Miyamoto, Baritone

東京藝術大学卒業、同大学院博士課程修了。学術(音楽)博士号取得。A. プレヴィン『欲望という名の電車』スタンリーで一躍注目を集め、以降二期会『ドン・ジョヴァンニ』『金閣寺』『フィガロの結婚』、新国立劇場『鹿鳴館』、日生劇場『メディア』、あいちトリエンナーレ『魔笛』等話題の公演に数多く出演。作詞、訳詞、執筆、演出等でも多彩に活躍。MOZART SINGERS JAPAN 主宰。桐朋学園大学准教授、聖徳大学客員准教授、東京藝術大学講師。二期会会員。<http://www.masumitsu-official.com/>



假屋崎省吾 (司会)  
Shogo Kariyazaki, MC

華道家。Kariyazaki Flower Professional Education School 主宰。美輪明宏氏より「美をつむぎ出す手を持つ人」と評される。着物やガラス器のデザインおよびプロデュースをはじめ、花と建物のコラボレートとなる企画「歴史的建築物に挑む」シリーズも開催。世界各国で開催やデモンストレーションを開催し、海外でも目覚ましい活動を展開している。その他、花育や少子化問題など、地域活性を促す社会活動等にも積極的に取り組んでいる。現在、TBS「中居正広の金曜日のスマイルたちへ」にレギュラー出演、MBS「プレバト!!」での大人気企画、いけばなの才能査定ランキングの専門家ゲストとして出演するなど、テレビ・雑誌・新聞など幅広い分野で活躍中。  
假屋崎省吾 公式ホームページ <http://kariyazaki.jp/>